

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会

# 法人だより

福祉情報を発信します

風の子保育園・あすなろの家・ともの家

No.20 2020年3月20日  
(令和2年)

静岡市清水区山原 871-2  
Tel 054-363-2046  
Fax 054-363-0522

あすなろの家

ショッピング  
リハビリ

## “ひかりサロニアすなろ”が

バロー高橋店でオープン

1/17(金)に内覧会を行い、  
1/24(金)から事業としてスタート



午前、午後それぞれ2時間。  
ポール体操を中心に休みや会  
話をはさみ、時には頭を使いな  
がら楽しく体を動かします。

体操が終わったら、スーパー  
でのウォーキング(含買い物)。

### 内覧会でも高い関心

内覧会には多くの方が参加し、なかには「来週から来たいけどどうしたらいいですか?」という人もいて、関心の高さがうかがえました。地域包括の方の見学もあり、増加人数に応じて、最初は金曜日の週一回から徐々に増やしていく予定です。

### 体操も買い物も楽しい

3月10日現在では、週2日、25名の方が利用されています。

利用者の方からは  
“体操も買い物も楽しい!”

“3回目だけど、今度は何を買うか考えながら来ている”

“家族がパンが好きなので、バローのパンを買うのを楽しみにしている”

こんな声が聞かれました。

買い物し終わっての歩数は  
**1900~2300歩**

静岡市では買い物は予防事業として認めていませんが、買い物をし終わっての歩数計は、1900~2300歩でした。何を買うか考えながら歩く。特にバローは、スーパーとしては広いので一石二鳥のリハビリです。(次ページに続く)

各施設、新型コロナウイルスの感染防止に最善を尽くしています。ご利用にあたっては各施設にお問い合わせください

## ひかりサロンのあすなろで 赤ちゃんの“ハイハイレース”を見学

2/14(金)は、バローの同じ階にあるゲームセンターで、赤ちゃんの“ハイハイレース”があるので見学に来てくださいとお誘いがあり、体操の合間に可愛い赤ちゃんが、周りを気にせずマイペースでハイハイする姿を応援。

笑ったり、楽しいひと時を過ごしていました。ショッピングセンターのいい所ですね。

訪問・文 海野法人広報部員



(最近では静岡新聞で改めて紹介される等、市の他部署や他市からの関心も高まっているようです)

.....

### 風の子

幼児教育・保育の無償化は...

## 喜こんでばかりでいいの？

2歳児以下は？ 保育士の処遇は？ 待機児童は？ 保育の質は？

### 風の子保育園 署名に取り組む

風の子保育園では、保育制度を改善するため、例年、福祉をめぐる情勢や福祉制度について学ぶ会を開催し、保護者とともに署名活動に取り組んでいます。

#### 無償化は歓迎するが...

署名に向けてアンケートをとりましたが、無償化については、金銭的に助かると反対の意見はありません。



しかし、無償化の範囲を広げてほしい、待機児童問題や保育士の処遇改善を優先してほしい、無償化で保育希望者が増えると待機児童が増加するのでは、保育の質は保障されるのか心配、などの意見も出されました。

#### 問題ある制度

制度として不平等感を感じる方や保育の質を心配する方などが少なからずおられることについては、問題がある制度だと改めて感じさせられます。

.....

### ともの家のクッキー

「カラダにやさしい良質な素材から作られたお菓子」として

「本物のおいしさを追求する」「KOマート」より「とも」に声が掛かる！

KOマートは「本物のおいしさを追求し、食の楽しさ、買い物の楽しさを追求」をスローガンに、京王商事が運営し、草薙・沓谷・みずほ・富士に店舗をもつフードマーケットです。

他ではなかなか手に入れることが難しい、こだわりの品を集めています。「とも」にも声を掛けていただき、昨年8月より納品させて頂いています。



KOマート沓谷店の一角に設けられた「とも」のコーナー。ともこだわりの商品の説明メモが貼り付けられています。

## 障害のある仲間の老い

「ともの家」も設立から 31 年が経ち、50 歳を超える仲間が片手では数えられない人数になってきました。

生まれた時、「二十歳まで生きることはないだろうと言われた」という親の声はよく聞きます。

素直に喜ぶ心も本心なら、その陰に隠れた、不安や心配も本心なはず。重みに差はあれど、その気持ちは私たちも同じです。



滝戸 恵美

### 52歳・Tさん

Tさん(52歳)は「ともの家」初期メンバーです。

昨年の春頃から、感情のコントロールが出来なくなり、目的もなく歩き出すことが増え、昼休みは、そのパトロールに付き合っていました。

自販機のボタンが押せなくなる、些細な病気や原因不明のケガが頻繁に起き、その都度、出来ることを失い、11月には、食事を食べる事にも興味がなくなってしまいました。

それでも、私たちは、Tさんにとって、作業に関わらず、とも、仲間の中で刺激を受ければ、喜怒哀楽の感情や生きる気力を失うスピードがスローになるのではないかと考えていました。

12月半ば、動く事さえもつらそうなTさん。日中もホームでゆっくり過ごすことにしました。もちろん“日中支援型”のホームではありませんので、そこは、世話人さんたちの勤務延長での対応です。

その3日後、褥瘡が見つかり、ひとり対応では立ち行かなくなってしまいました。

ホームで過ごし、ホームで看取る。こんな夢は儚く消え、現在Tさんは、あすなろの家のショートステイを利用しながら、特養の入所を待っている状況です。帰宅できる家はないので、帰宅時はグループホームで受け入れています。

Tさんが通院している医療センターの担当医は、療養型の病院で見てもらうのが通常だけど、特養で大丈夫なの？と、終の棲家を限定して勧めてきます。

### 障害のある仲間が安心して老いる場所は・・・

そもそも発達に遅れのある仲間たちは、老いてもなお、発達の遅れを引きずっています。

若いときから言葉でのコミュニケーションが苦手な仲間たちです。環境の変化に弱く、場所や人に慣れるまで時間が掛かります。

それもこれも理解してもらい安心して老いる場所はどこなのでしょう？ グループホームがその場所ではなかったのでしょうか。

始まったばかりの仲間たちの老いの問題は、家族依存や所得保障など、いまだ課題の多い

障がい者の暮らしに追い打ちをかけています。

今私たちがTさんにできること。

それは、Tさんがどんな状態であれ、愛すべき大切な仲間であることを本人に伝え続けること、そして新たな居場所である、あすなろの家の職員にも、同じように伝え続けることです。

Tさんを応援し続けます。

## 「全世代型社会保障」って何?...

12月19日に発表された「全世代型社会保障検討会議」中間報告(案)について、私の感じた特徴的な事柄を考えます



法人理事長 杉井則夫

### 「全世代型社会保障」検討会議中間報告(案)は何を言っている?

#### 世代間対立をあおる...

全世代型社会保障検討会議と名付けられていますが、検討している中身の主要な部分は安倍政権の目玉政策である「働き方改革」そのものだということです。社会保障費は増額を抑えながら、高齢者部分を削って全世代型に変換すると言って、世代間対立をあおり、働き方改革で年金受給の繰り下げと、社会保障費の担い手を増やそうとするものです。

#### 「少子化」は格差社会からも

太平洋戦争終戦後のベビーブーム世代が、日本社会の年齢構成にひずみをもたらしていたことは60年以上前からわかっていたことです。そこに想定以上の少子化が加わったために従前の想定よりもさらに厳しい状況に陥ったことは確かでしょう。

しかしこの少子化も自然にそうなったわけではありません。企業も官公庁も正規雇用を減らして業務請負制にし、雇用形態も非正規、派遣中心の身分不安定雇用となり、賃金も能力給や成果主義賃金などと名前を変えて実質切り下げとなりました。

結婚したくても結婚できない人たち、結婚しても子育て環境が厳しくて子供を産めない社会、一度ルールから外れると二度と這い上がれない格差社会が広がって少子化に拍車がかかってきたのではないのでしょうか?

#### 実質賃金は低下

#### 大企業の内部留保は増大

統計資料でみると2000年に172兆円だった大企業の内部留保は2015年には312兆円(2018年には449兆円)と増大する一方、実

質賃金指数はこの間107.3から94.8へと低下し、貯蓄ゼロ世帯は12.4%から30.9%へと増大しています。

労働賃金を減らしながら消費税を増税し、法人税は減税して企業の内部留保を一段と増やし続けることだったのです。

#### 働く人を増やし、賃金は抑制 年金の将来はどうなる

「一億総活躍社会」と言って高齢者も働かなければならなくし、「女性活躍社会」「働き方改革」と称して、割高になる時間外賃金を抑制してダブルワークを推奨し、正規社員には成果主義を導入して、そもそも時間外賃金という概念を取り払おうとしているのです。

今まで国民年金・国保加入であった人たちを社会保険・厚生年金対象にすることで、当面の保険料収入は増加するでしょう。この新しく加入した人たちが受給年齢に達した時、その年金を負担する国民は一体何人でいくら負担しなければならないのでしょうか。

今をしのげば何とかなるでは、問題の先送りではありません。

#### 国民負担増の前に まずは企業課税の強化、税の累進制を守り、 国家予算の透明性の確保を

国民負担を求めるのであれば、まずあるところから取る、企業課税を強化し、所得税本来の在り方である累進性を戻す、予算執行の透明性を確保するといったことがまず実行されて、そこからどうするかという議論を始めないとこのままではますます格差社会がいびつになっていくだけではないのでしょうか。